



生活指導だより

クローバー



府中市立府中第五小学校
校長 布宮 英明
五小 生活指導部
令和3年12月

ことばづかい 言葉遣い



保護者会で子供たちの言葉遣いが乱れていることについての話題がありました。

例えば「死ぬ」という言葉です。簡単に使われることの多い言葉です。もちろん、相手に本当に死んでほしいと思っているわけではないでしょう。しかし、使うと相手をひるませることができる言葉として使われています。さらに、自分が不快感を感じた時、例えば問題がうまくできないとき、失敗してしまったときなどに発せられることもあります。家庭でオンラインゲームをやっているときにも多く使われているようです。個人面談、保護者会で保護者の方から何人もの方が「ゲームをやっているときの言葉遣いが悪くて心配です。」というお話をいただきました。

「おつ」という言葉も度々聞かれます。インターネット上でよく使われる言葉です。使っていた子供たちにどういう意味なのかあえて聞いてみると、「『おつかれさま』という意味です。」と教えてくれました。しかし、言われて嫌な気持ちになる人？と聞いてみると、その場にいた全員が手を挙げました。どのような場面でこの言葉を使うのかを聞くと、人が失敗したり、うまくいかないことがあったりしたときに使うようです。トラブルのもとになる言葉です。低学年の子ほど、もともとの意味を知らず、上級生が使っていたから、という理由で使っていることもわかりました。

この二つに共通することは「インターネット上の言葉から」、ということです。子供たちが使う言葉遣いに、大人が眉をひそめるのは以前からあります。その発信源はテレビ番組が多かったのでしょうか。しかし、現在の発信源はインターネット（オンライン）上になってきています。上記の例は一例ですが、大人が知らない言葉で、耳にしてもわからない言葉が実は相手を馬鹿にしたり、からかったりする言葉であることもあります。

相手を傷つける言葉や、周りが不快に感じる言葉を我が子に使ってほしくないとの思いは誰もがもちだと思えます。学校、学童、放課後、家庭、習い事、子供たちは様々な場面で言葉を使い分けているかと思いますが、友達とトラブルになったときや、不快感を感じたときにとっさに発せられる言葉には看過できない言葉があります。また中指を立てるという動作も目にします。子供たちの言語環境を整えるのは我々大人の役割と今一度再確認し、よりよい言語環境の中で子供たちを育てていけるようにご協力をよろしくお願いいたします。

訂正(前回のクローバーより)

体育着について

昨年度、報道等でも、体育着に関して、様々な話題が出ています。五小では子供たちの健康増進と規律ある学習生活を身に付けるため、五小のきまりとして決めています。様々なご意見もあるかと思いますが、学校の集団としての指導をしていくうえで、一定のルールは必要です。ご理解ご協力をよろしくお願いいたします。

◇半そで、半ズボンの体育着着用ですが、冬季は長袖の体育着でもよいです。

◇体育着を忘れた場合

→安全面、衛生面から原則見学です。

◇赤白ぼうしを忘れた場合

昨年度 PTA 運営委員会で確認していました。おわびして訂正いたします。